

☆ 本目さよの想い

「誰もがやりたいことができる社会にしたい」
私がずっと、抱き続けてきた意志です。

心理学を専攻していた大学生の卒業論文で、
男性はほぼ100%の人が「男に生まれてきてよかった」
と思うのに対して、
女性はその半分しか
「女に生まれてよかった」と思わない
という調査の結果を知りました。

その理由を尋ねたところ「出産」が
キーワードにあがりました。
「子どもを産むのって痛い」
「出産したらシゴトを辞めなくちゃいけないでしょ」
そんなネガティブな言葉があがってきたのです。

その後、就職して人事職として働いている時、
育児休業を取得した女性から
「保育園に入れなくて仕事に戻れません」
という連絡が入りました。

やっぱり、出産で仕事を辞めなくてはならない社会なのか？
という悔しさとともに、社会の環境で、
「子どもを産んだから」「女だから」「男だから」
という理由で、やりたいことができない社会はおかしい。

誰も変えてくれないなら私がやる！
人生を決断したのが4年前のことでした。

新人議員の突破力で、変えられたことがたくさんありました。
議会の壁にはね返されたことはその何倍もありました。

それでも、台東区議会で初めて20代の女性議員が
働いたことが、間違いなくこれまでの台東区政を
大きく変える一石になれたと思っています。

これからも、全力で議員としての責任を、
果たしていくことをお約束します。

台東区議会議員

本目さよ

